

令和5年度

# 丹波市立中央小学校 学校経営方針



令和5年4月

# めざす学校と教師の姿

## 1 子どもに寄り添い、決して見捨てない学校 ～授業・学習・学校が楽しい～

### (1) 「自分大好き、学校大好き、地域大好き」と言える児童の増加

学校は、子どもたちの未来を創るところです。そのためには、どの子も安心して学べる学校・学級であることが大前提です。特別支援教育、人権同和教育を基盤とし、子どもたちの自己肯定感を高めるとともに、一人ひとりの個性を認め合い、すべての児童にとって安心できる居場所となる学校や学級をつくることで、自分のことも学校のことも地域のことも大好きな児童の育成を図ります。

- ◆安心できる居場所となるように、児童同士、児童と教師、学校と保護者、学校と地域の信頼関係の構築
- ◆特別活動など児童の主体的な取組の推進
- ◆日々の教師の姿・まなざしの意識化

### (2) 不登校の未然防止と学校復帰に向けた取り組み、いじめ解消率 100%

不登校児童に寄り添いながら、不登校児童の社会的自立に向けた取り組みを進めるとともに、不登校の未然防止、早期発見、早期対応に取り組めます。また、いじめは、どの子にも、どの学級にも、そしてどんな時にでも起こりうるという認識に立ち、いじめの早期発見、早期対応はもちろんのこと、日常の学校生活の中での仲間づくりを大切に、いじめを許さない人間関係づくりに取り組めます。

- ◆自他の違いを認め合い、信頼関係を大切にした学級経営
- ◆連続3日欠席したら必ず家庭訪問
- ◆児童理解シートを活用した情報交換

【指標】「自分には良いところがある」と回答した児童の割合：80%以上  
全員登校の日数：年15日以上

## 2 家庭や地域と連携し、信頼される学校 ～支え合い・助け合い・つながり合い～

### (1) コミュニティ・スクールの活用

どのような子どもたちを育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを共有し、行動を共にすることが大切です。コミュニティ・スクールを活用し、保護者、地域からの意見を学校教育に活かし、積極的に地域人材の活用を進めます。

- ◆学校運営協議会の開催
- ◆学習支援部・生活支援部・地域交流部の3部会の活動
- ◆地域ボランティアの拡大

(2) ホームページ、地域施設を活用した積極的な情報発信

めざすべき教育の姿や学校が抱える課題については、家庭、地域とともに考える必要があります。そのため、情報を積極的に発信します。

- ◆メールとホームページを中心にした情報発信
- ◆「校長室から」に児童や学校の様子を配信
- ◆ひかみ成松交流館で作品掲示

【指標】「学校の様子がよくわかる」と回答した保護者の割合：90%以上

### 3 指導力を高め、協働できる学校 ～仕事・職員室・学校が楽しい～

(1) 「主体的」「協働的」「組織的」を大切にし、働く喜びを感じられる職員組織

子どもたちに学び合い、支え合いを指導するには、我々教師自身がその姿にならなければなりません。私たちは、共に学び、共に支え合い、そして仕事を楽しむ職員組織を創ります。また、自分の得意なこと、自分らしさを発揮できる職員組織であり続けます。

- ◆気づいた時に気づいたことをする姿勢
- ◆自分の悩みやクラスの悩みを職員の悩みにする姿勢
- ◆校内研修において一人一回発言
- ◆全員が研修講師になる“夏季スペシャル研修”の実施
- ◆「伝えたい時が書き時」を合言葉にした通信の発行

(2) ワークライフバランスを大切にした業務改善

子どもたちに向き合うゆとりをつくるために、業務改善がこれまで以上に必要です。そのため、既存のシステムにとらわれない、効果的な時間の使い方について考えていきます。また、積極的にデジタル活用によって業務改善を図ります。

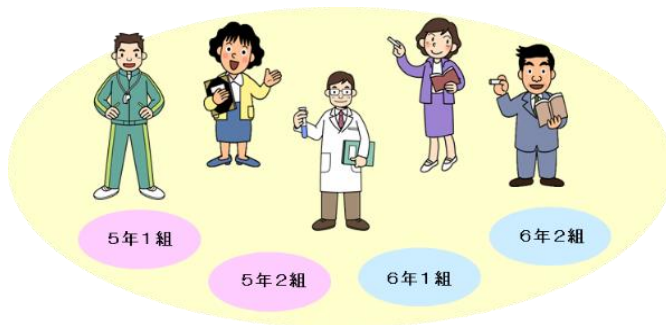
- ◆部会制による会議システム
- ◆タブレット等を活用した情報共有システム
- ◆ガルーンの有効活用により、会議時間 1 時間以内
- ◆定時退勤日（毎週水曜日）の完全実施
- ◆学期毎にリフレッシュを目的とした半年休を取得

【指標】 前年度同期と比較した超過勤務時間：10%減

# 自律する子の育成

～自分で考え 自分で判断 自分で決定 自分で行動～

## 1 自分で考え、判断し、行動できる力の育成



複数学年複数担任制で期待する効果

- 自分たちでクラスを創る意識
- 担任まかせにならない当事者意識
  - ⇒個々の自主・自律心の育成
  - 「まずは自分達で考えよう」
  - ⇒自信・自尊心の向上
  - 「自分達でもできる！」

### ◆複数学年複数担任制（5

年生以上）

- ◆3,4年生での一部教科担任授業
- ◆児童の興味関心から始まるカリキュラム編成
- ex) 幼児教育を活かした1年生1学期カリキュラム

1年生1学期カリキュラムの例

今週のテーマ	ちゅうおうしょうがっこうを たんけんしよう!
朝の時間	・ 朝の用意
1時間目	【♡なかよしタイム】…集団の中で安心をつくる時間 ・ 選択活動（読書、プリント、工作、ダンス、お絵描き、遊具遊び、生き物探しなど）
2時間目	・ 集団活動（手遊び、読み聞かせ、歌、ダンス、右脳ゲームなど）
業間休み	・ 自由遊び
3時間目	【★わくわくタイム】…生活科を中心とした総合的な活動 ・ 「部屋の数を数えよう」「探検の順番を考えよう」（算数）
4時間目	・ 「気持ちよく挨拶しよう」「自己紹介カードを作ろう」（国語、図工） ・ 「グループの友だちと力を合わせよう」（道徳）
昼の時間	・ 自治的な当番、係活動（給食、のびのびタイム） ・ 異学年との交流活動（ムキムキタイム、縦割り班掃除、集会など）
5時間目	【♣くんくんタイム】…友だちとの関わりも活用した教科学習



### ◆自学自習できる力を養う授業構築

ex) 自由進度学習、問いから始まる授業、児童がファシリテートする授業

### ◆タブレットの有効活用

低学年：タブレットの日常活用

高学年：自分で使い時を判断して活用

### ◆学び方指導「けつふれ」学習

小サイクル

☐いかく⇒☐ライ⇒☐りかえり⇒☐んしゅう

大サイクル

☐いかく⇒☐テスト⇒☐んせき⇒☐んしゅう



## 2 感情と思考のコントロール

- ◆セルフコントロール指導計画をもとにした右脳刺激のゲーム活動

## 3 レジリエンス(折れない心)の育成

- ◆体力向上プロジェクト『ムキムキタイム』
- ◆気になる児童への早期対応



【指標】「自分で考えて行動している」と回答した児童の割合：90%以上

「家庭でも一人でできることが増えてきた」と回答した保護者の割合：75%以上

# 創造する子の育成

～自分なりの考えを創る 新しい知恵を生む～

## 1 確かな学力の育成

- ◆教科担任制（5年生以上）による授業
- ◆校内研修「自律的に学ぶ姿をめざして」の推進
- ◆月曜日放課後実施の希望者を対象の補充学習『ひょうごがんばりタイム』
- ◆毎月23日「家読（うちどく）の日」に家庭読書を実施

令和5年度の担当教科分担

A教諭	B教諭	C教諭	D教諭
国語12h	算数15h	理科9h	社会10h
家庭科4.5h	音楽3h	図工4.5h	外国語6h
		体育3h	
総合・道徳・特別活動は、交代で担当 ※教頭書写3h			

### 教科担任制で期待する効果

- 教科特性を活かした授業の提供
- 1学年上、1学年下のメニューの提供  
ex.発展メニュー 振り返りメニュー  
⇒「みんな同じことを、同じペースで、  
同じようなやり方」からの脱却
- 教材研究の時間短縮

## 2 新しい力の育成

- ◆外国語活動の充実
- ◆『丹波市プログラミング教育基本モデル』  
を活用したプログラミング教育の推進



## 3 課題を発見し、分析し行動する力の育成

- ◆教科担任制（5年生以上）※再掲
- ◆課題解決型学習（PBL）の増加
- ◆生活科・人権総合での学び方の見直し



【指標】「分かることやできることが増えてきた」と回答した児童の割合：90%以上  
「新しい課題、学習に取り組む時は楽しみだ」と回答した児童の割合：70%以上

# つながれる子の育成

～他者に関心を持ち、人から学ぶ 人の考えを自分に活かす～

## 1 あたたかい言葉がけ、やさしい行動の日常化

- ◆月毎の挨拶目標の設定とPTAと連携した挨拶運動
- ◆「ありがとう」と言える機会の増加
- ◆特別支援教育の視点を全学級で展開
- ◆年間を通じた縦割り班掃除
- ◆コミュニティ・スクールによる人材活用



## 2 他者の考えを受け止め、自分に活かせる力の育成

- ◆子どもたちが自ら考えて行動する時間『ジャンボタイム』
- ◆他者（他学年、地域、海外等）への情報発信
- ◆生き方を育む校区事業『かがやきタイム』



【指標】「家でも学校でも地域でも、自分から進んであいさつしている」と回答した児童の割合：90%以上  
「相手の気持ちを考えた行動・声かけ・言葉遣いができる」と回答した児童の割合：80%以上